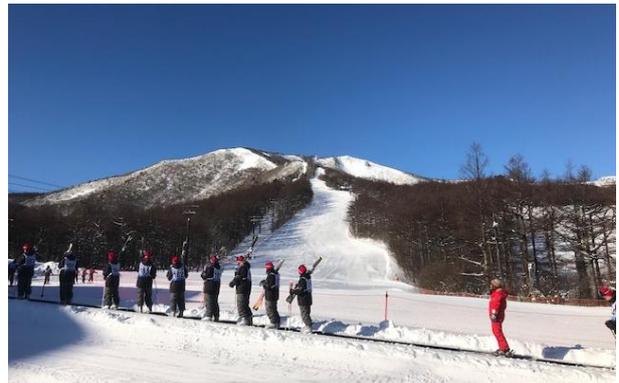


安全報告書

2023



富士急安達太良観光株式会社

ごあいさつ

日頃よりあだたら高原リゾートをご利用頂きまして、誠にありがとうございます。

当社は「安全の確保」を企業行動規範に掲げ、何よりも安全を第一優先と考えております。

この安全報告書は鉄道事業法に基づき「輸送の安全確保をするための現状」と「安全性向上のための取組」についてまとめたものです。ご高覧いただくとともに今後ともあだたら高原リゾートをご利用くださいますようお願い申し上げます。

富士急安達太良観光株式会社

代表取締役 渡辺 康治

【安全方針】

1. 安全はすべてに優先する。

お客様の安全確保に努め、お客様に安全・安心をお届けします。

2. 法令及び諸規則の順守

法令及び諸規則の順守はもとより、良識を持って誠実に行動します。

3. 常に安全の維持・向上

常に安全を維持・向上させるため、必要なチャレンジを惜しみません。

4. 自ら考える組織

自ら考え、問題意識を持ち、問題を発見し解決し成長発展することで、安全確保に全員で取り組みます。

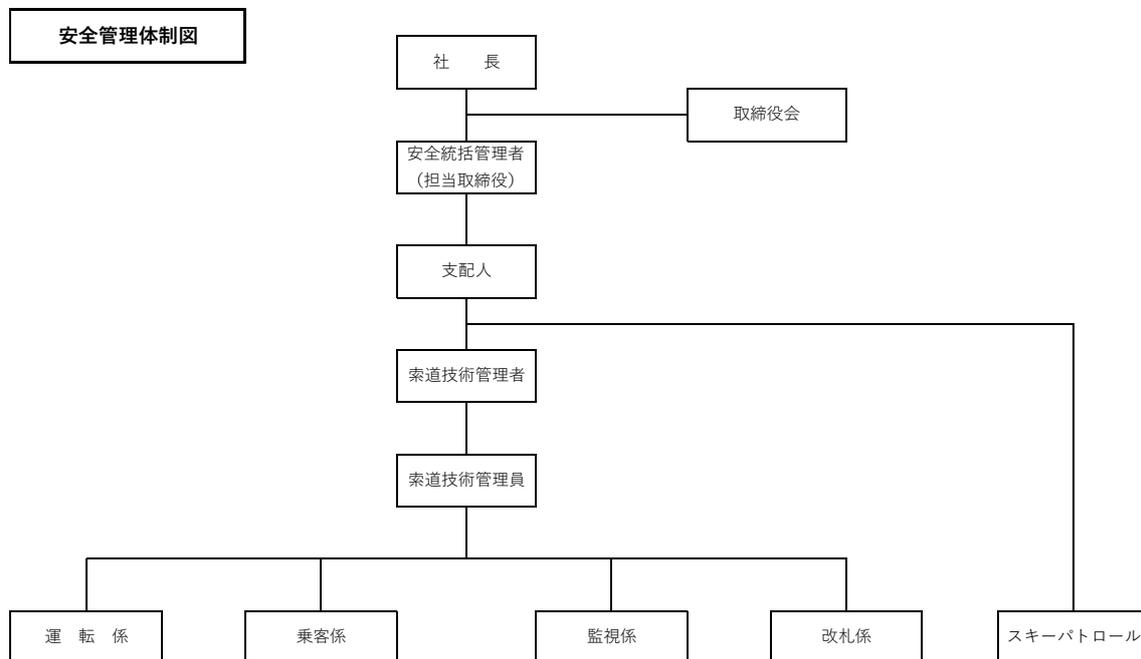
5. 顧客を意識した事業活動

顧客の意見に耳を傾け、安全・安心なサービスを提供します。

【2023年度 安全目標・安全重点施策】

- ・ 索道運転事故0件、インシデント0件
- ・ 法令・規程・細則等の周知
- ・ 各種マニュアルの見直し
- ・ 異常時を想定した訓練による備え（外国人観光客含む）
- ・ 不具合復旧力向上
- ・ 安全意識向上の定着
- ・ ヒヤリ・ハット収集と分析
- ・ 気象による運行の管理
- ・ 来場者の安全を図る

【索道事業安全管理体制図】



当社は、令和5年6月に富士急行株式会社から索道事業を譲受し、あだたらゴンドラリフト・ブルーラインリフト・オレンジラインリフト・バイオレットラインリフト・ゴールドラインリフトを運行しております。

事業譲受後の令和5年6月に当社としての「安全管理規定」を制定し、社長をトップとする安全管理体制を構築しました。「安全統括管理者」が事業全体の安全を統括し「索道技術管理者」・「索道技術管理員」を配置し、各責任者の責務を明確にした中で安全確保のための役割を担っています。

【安全管理の方法】

毎月の自社安全会議のほか、富士急行・富士急グループ索道事業所が出席する索道グループ安全会議に出席しヒヤリ・ハット、施設の整備、教育訓練などの意見交換を行い安全の向上を図っています。

また、経営者及び安全統括管理者が定期的に現場を巡視し、係員から直接意見を徴収し施設の改善等に繋げています。

自社教育訓練には、社長及び安全統括管理者も立会意見を交換し救助員の技術力向上にあたっています。

【安全に関わる取組】

1. 工 事

点検結果や使用状況に基づき、索道施設のオーバーホール工事を実施しております。主な工事は下記となります。

- ・ ロープウェイ握索器オーバーホール
- ・ ロープウェイ受索装置オーバーホール 8号 9号 18号
- ・ 風速計更新

2. 異常時における訓練と教育

異常時における救助訓練とシーズン前にはリフト係員へ安全教育を行っています。



【ご 報 告】

・2022年度における事故・障害について

索道運転事故 0件 インシデント 0件

お客様へのお願い

ロープウェイ・リフトご利用の際は安全上、係員の指示に従いご利用をお願い致します。

みなさまのご協力をお願い致します。

●ご連絡先

安全報告書へのご意見、当社取組へのご意見、お問合せは下記へ
お願い致します。

T E L 0243-24-2331 E-MAIL adatara@fujikyū.co.jp